

6 令和3年度（2021年度）の主な出来事

年月	県内	国内・海外
令和3年4月	・東京オリンピックの聖火リレーが大分県内を完走(24日)	・新型コロナ対策で1回目のまん延防止等重点措置(5日～9月30日まで) ・福島第一原発、処理水の海洋放出決定(13日) ・新型コロナ対策で3回目の緊急事態宣言(東京都、京都府、大阪府、兵庫県)(25日～6月20日まで)
5月	・新型コロナの感染が急増しているとして大分県は、初めて上から2番目のステージ3に引き上げ。大分市、別府市の飲食店に時短要請(6日)、県内全域に拡大(14日) ・新しい大分旅割の利用期限を大分県は、12月末まで延長(14日) ・大分県を含む九州北部が平年より20日早く梅雨入りしたと大分地方気象台が発表(15日)	・財務省が発表した4月の貿易統計速報によると前年同月比38.0%増。米国や中国向けの自動車、半導体製造装置が大幅に伸びた。(20日)
6月	・大分県が新型コロナ対策で県内全域の飲食店に求めている時短要請を1か月ぶりに解除(14日) ・県は新型コロナの感染状況を示すステージを1に引き下げ(28日)	・米マイクロソフトはパソコンむけ基本ソフト(OS)Windows11を発表(24日)
7月	・県内初の県営コロナワクチン接種センター(昭和電工武道スポーツセンター)を開設(4日)	・新型コロナ対策で4度目の緊急事態宣言(12日～9月30日まで) ・東京オリンピックが開幕(23日) ・厚生労働省は雇用調整助成金の支給決定が4兆円を超えたことを発表(26日)
8月	・九州や中国地方で記録的豪雨発生(12日) ・県は新型コロナの感染状況を示すステージを3に引き上げ(17日)	・農林水産省は2021年上半期の農林水産物・食品の輸出額が前年同期比31.6%増となったと発表(3日)
9月	・新型コロナのワクチン接種促進のため県は県営ワクチン接種センター(県庁新館)を開設(1日) ・県は8月の記録的豪雨により農林水産関連の被害額が13億円になったと発表(16日)	・デジタル庁発足(1日) ・菅首相は総裁選に立候補しないと表明(3日) ・日本銀行は、2021年6月時点の個人(家計)の金融資産が2005年以降過去最高となったと発表(17日)。
10月	・昭和電工ドームで2年ぶりにラグビー日本代表のテストマッチが開催(23日)	・第1次岸田内閣発足(4日) ・マイナ保険証の本格的運用を開始(20日) ・第49回衆議院選挙(31日)
11月	・臼杵市は国連教育科学文化機関(ユネスコ)から創造都市ネットワーク食文化分野への加盟に認定されたと発表(8日)	・岸田首相が原油価格の高騰の引き下げを図るため国の石油備蓄を市場に放出すると発表(24日)
12月	・県は、県民向けの県内旅行割引「新しいおおいの旅割」の利用対象に福岡、宮崎、山口、愛媛の県民に拡充(6日) ・大分トリニータが天皇杯で準優勝(19日) ・大分県の男性の健康寿命が都道府県別で1位になったと厚生労働省が発表(20日)	・新型コロナワクチンの3回目の接種を開始(1日) ・政府は12月の月例経済報告で国内景気の基調判断を1年5か月ぶりに上方修正。(21日)
令和4年1月	・大分市、佐伯市、竹田市で震度5強を観測(22日) ・大分県に初の新型コロナのまん延防止等重点措置を適用(27日～2月20日)	・新型コロナ対策で2回目のまん延防止等重点措置(9日～3月21日まで) ・財務省が発表した12月の防衛機統計によると輸出額、輸入額ともに過去最高となったと発表(20日)
2月	・別府大分毎日マラソン大会が2年ぶりに開催(6日) ・日本銀行大分支店は2月の県内景気動向で総括判断を9か月ぶりに下方修正(15日)	・農林水産省は2021年の農林水産物・食品の輸出額は前年比25.6%増と加工最高を更新したと発表(4日) ・北京冬季オリンピック開幕(4日) ・観光庁2021年の旅行・観光消費動向調査で国内旅行消費額は前年比8.5%減で過去最低となったと発表(16日) ・ロシア軍がウクライナの首都等にミサイル攻撃を開始(24日) ・日本自動車工業会は2021年の自動車国内生産台数が45年ぶりに低水準となったと発表(28日)
3月	・総務省は約700ある全部過疎市町村のうち、豊後高田市の2021年の転入超過が全国で最多だったと公表(24日)	・農林水産省は輸入小麦を民間に売り渡す価格を17.3%引き上げると発表(9日) ・経済産業省は石油備蓄の放出を開始したと発表(10日) ・新型コロナ対策のまん延防止等重点措置を全面的に解除、全国で対象地域がなくなった(22日)